



松山 力弥 議長

新しい日常に一手を

6月定例会

令和2年第2回定例会は、6月5日から10日までの6日間で行われ、審議の結果、提案された議案25件を原案のとおり可決・承認・同意しました。

令和2年度一般会計補正予算(第2号)
1億668万円を増額 総額128億9283万円

コロナ対策関連予算を議決

4月の臨時会に引き続き、新型コロナウイルスに関連する予算が多く計上されました。(4月臨時会の内容は10ページに掲載)
また、新型コロナウイルス対策のための財源確保や工期の都合により、一部事業が延期となり、減額されています。(詳細は11ページに掲載)

計画を前倒し

ICT環境整備備品購入費(5校)
1億2113万円

小中学校の全児童生徒(1人に1台)にPC端末を配付します。
須恵町ICT計画に基づき、本年度はモデル校を指定し配付する予定でした。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により、休校を余儀なくされ、ICT環境の早急な整備が必要との国からの要請で、計画が前倒しとなりました。
3月に計上していた当初予算2196万円と合わせ、総額は1億4309万円です。



保護者の負担軽減へ

夏期給食等負担金(5校)
2251万円

約3か月間にわたり学校が休業となり、その授業時数を確保し学力の定着を図るため、夏季休業期間を短縮し通常登校日とします。期間中は小中学校ともに給食及びランチサービスを町負担で提供します。



栄養満点でおいしい給食

妊婦の不安解消へ

妊婦PCR検査委託料
600万円

新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、不安を抱える妊婦は少なくありません。そこで、少しでもその不安を和らげるため、PCR検査の費用を全額町が負担します。
対象者には町から案内が届き、かかりつけの産婦人科医と相談後、本人が希望する場合にPCR検査を受けることができます。



まちに元気を

個性ある地域づくり推進事業費補助金
360万円

地域共同イルミネーション事業の補助金で、校区コミュニティごとに計画し、駅や公園などをイルミネーションで飾ります。
暗いニュースが続く中、まちの明るい話題づくりとして、クリスマスの時期に実施する予定です。
県の補助事業で、補助率は3分の1です。



議員のつぶやき

校区ごとに、まちを明るくすることにより、みんなの心にあたたかい灯りをともせれば良いですね。とても楽しみです。

イングリッシュサポーターを配置

英語教育強化推進事業
121万円

県の英語教育重点支援市町村の指定を受け、須恵中学校において実施します。イングリッシュサポーターの配置や学習ソフトの整備に関する経費を計上。県の補助率は2分の1です。
生徒へのきめ細やかな学習支援や、個に応じた学習環境の整備の在り方について実践研究を行い、生徒の英語力向上を目的としています。

子どもの体調管理を

消耗品費(教育委員会)
79万円

6月から学校を再開し、子どもの体調管理のため、非接触型の体温計(学級数分)を各幼稚園・保育園・小中学校に配付します。
他にも、各施設において、子どもの安全を最優先に、さまざまな対策が講じられています。



6月定例会の

一般質問を中止へ

新型コロナウイルス感染拡大という有事において、町民の安心・安全を最優先と考え、

- 1 執行部に町民への対応に全力を注いでもらう
- 2 対策に追われる執行部の負担を軽減する
- 3 傍聴者及び議員、職員の感染防止

のため、議会運営委員会で協議し、**審議日程の短縮・一般質問の中止**を決定しました。



新型コロナウイルスに関する情報は
こちらから



須恵町ホームページ

※すべてのページにおいて金額は1万円未満を切り捨てています。